

SENKO REPORT



第96期 報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

- 1P 株主の皆さまへ
- 3P 部門別の概況
- 5P 中期経営計画について
- 7P 特集 新中期経営計画の概要
- 10P 事業トピックス
- 11P CSRの取り組み
- 13P 財務ハイライト
- 14P 連結財務諸表
- 17P 会社概要
- 18P 株式情報

SENKO

証券コード 9069

次の100年を見据えた 新中期経営四ヵ年計画をスタートいたしました。



代表取締役社長
福田 泰久

免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第96期における営業の概況と決算について
ご報告申し上げます。

新規顧客の積極開拓により 増収増益を達成しました

当期の日本経済は、生産活動や個人消費などに緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、円高の長期化や海外経済の減速による輸出の減少などの影響もあり、厳しい状況が続きました。しかしながら、昨年末以降は緩やかな回復傾向にあります。

物流業界におきましては、生産活動や個人消費の緩やかな持ち直しを受けて、取扱物量は改善傾向にありましたが、その後の輸出や個人消費などの落ち込みにより、依然厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは平成22年4月にスタートさせた「Moving Global」をコーポレート・スローガンとする、中期経営三ヵ年計画の最終年度として、国内外で積極経営を進めてまいりました。

国内では、荷主企業が災害に備えて製造・在庫拠点を地方に分散させる動きや、原材料・資材調達先を複数確保する動きがあるほか、他方では物流効率化のために地域の在庫拠点を集約する動きなどもあり、これらの物流

ニーズに対応するため、また積極的な販売拡大による新規顧客に対応するために、関東、中部、関西などで新たな物流施設を準備しております。

海外におきましても、タイにおいて豊田通商株式会社さまと日系自動車工場向けに物流サービスを行う合併会社を設立したほか、カザフスタンでは同国に進出したミニストップ株式会社さまのコンビ二向け物流サービスを開始するなど、積極展開しています。

また、昨年9月には商事・貿易事業の強化の一環として、北海道、東北地区で健康食品や飲料、日用雑貨、化粧品などの卸売りをを行う「株式会社オバタ」を子会社として当社グループに迎えました。

当期の連結営業収益は、新規顧客の積極開拓、前期に千葉県野田市や北海道北広島市、宮崎県日向市などに開設した大型拠点の投資効果があったこと、前期に「株式会社スマイル」「中国ピアノ運送株式会社」を子会社化したことなどにより、2,935億34百万円(対前期比8.6%増)となりました。一方、利益面におきましても、売上拡大効果、M&A効果、コスト削減効果、ならびに生産性向上活動の効果などにより、連結営業利益は99億8百万円(同19.8%増)、連結経常利益は101億円(同21.2%増)、連結当期純利益は52億2百万円(同49.6%増)となりました。

当期の業績を踏まえ、 年間配当は1株14円といたしました

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元

を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当初の計画では1株当たり6円としておりましたが、年間の業績が順調に推移したことなどを勘案し、期末配当金を1株当たり7円とし、既に行っている中間配当金1株当たり7円と合わせまして、年間配当金14円といたしました。

新中期経営計画のもと 新たな市場を開拓します

今後の日本経済は、海外経済の持ち直しと円安による輸出の増加、政府による経済対策の効果、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより、景気拡大が続くとみられます。

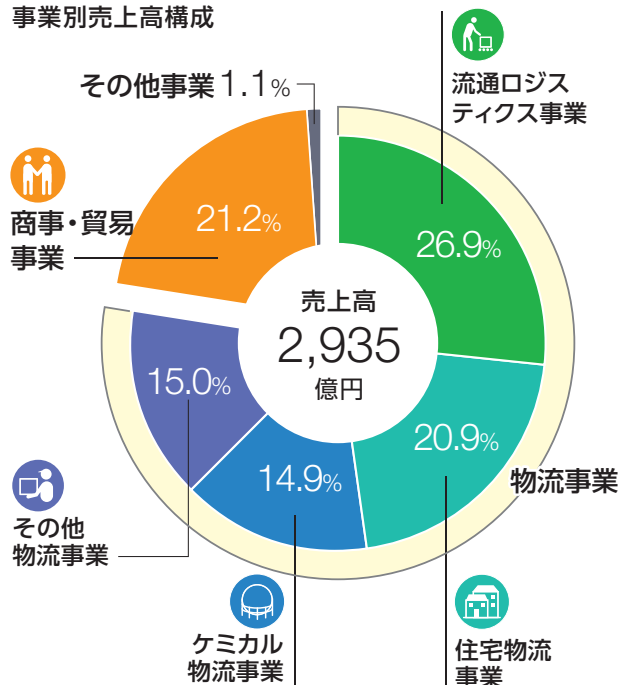
このような環境の中、当社グループは平成25年度を初年度とする4年間の新しい中期経営計画を策定し、コーポレート・スローガン「Moving Global」に添えた「物流を超える」「世界を動かす」「ビジネスを変える」を実現できる企業を目指してまいります。

具体的には、高付加価値サービスの開発と提供、物流センター事業の拡大、アジア地域などでの事業強化、新規事業の開発、収益力の強化などに取り組みます。

株主の皆さまにおかれましては、今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当期(96期)の成果を部門別(セグメント別)に報告します。

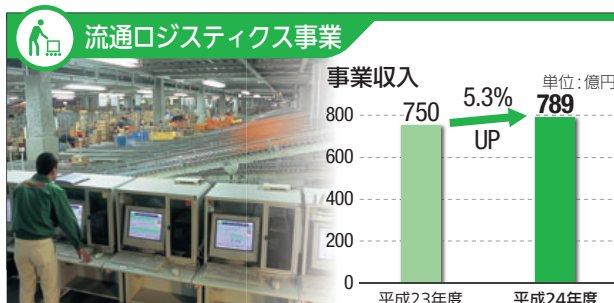
事業別売上高構成



その他事業

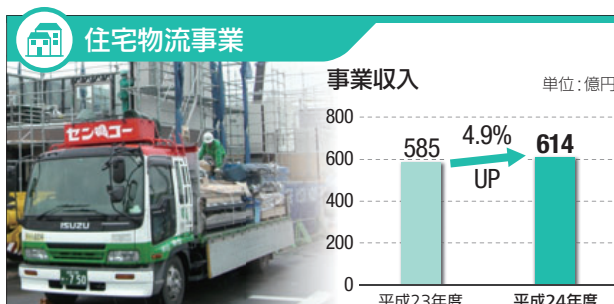
情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門です。物流事業、商事・貿易事業の2部門に含まれない事業を主要サービスとしております。

事業収入は32億円と対前期比3.6%の増収となりました。



量販店や百貨店、専門店など、流通業界向けなどの物流サービスを行う事業です。

当期は、前期に稼働した大型拠点開設効果によりGMS(総合スーパー)向けの物流が伸長したことや、アパレル向けの物流で新たに業務を獲得したことなどにより、対前期比5.3%の増収となりました。

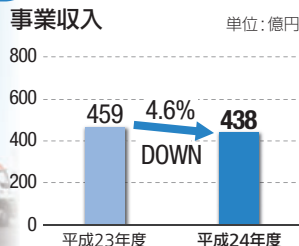


住宅メーカーさまの製品を工場から建設現場へ輸送するサービスや、住宅資材メーカーさまの住宅資材の輸送などの物流サービスを行う事業です。

当期は、積極的な販売拡大の効果で住宅資材メーカー向けの売上が伸長したことに加え、住宅メーカーさまの物量が増加したことにより、対前期比4.9%の増収となりました。



ケミカル物流事業

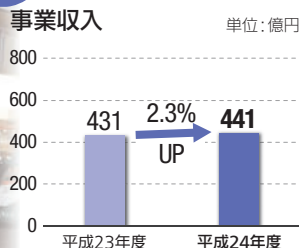


プラスチックなどの原料となる樹脂やプラスチック成型品、加工品の輸送や、機械などに使われる潤滑油の輸送に関する物流サービスを行う事業です。

当期も積極的な販売拡大を行い、新たな顧客を獲得しましたが、景気の影響などを受けた輸出や生産活動の低下による物量の減少があり、対前期比4.6%の減収となりました。



その他物流事業

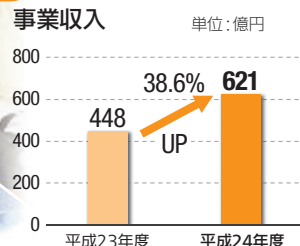


流通、住宅、ケミカル向け以外の物流サービス事業です。現在、当社グループが手掛けている代表的な物流サービスは、食品、電機・機械などの製品に関する物流、商社さまの商品の物流、引越サービスです。

当期は、中国ピアノ運送㈱のM&A効果、食品輸送や電機・機械輸送の分野で新規拡販を行ったことなどにより、対前期比2.3%の増収となりました。



商事・貿易事業



石油販売、商事販売、貿易事業などを行う事業です。

物流機器、物流資材、石油カードを利用した燃料の販売など物流に関連する商材を販売するほか、日用品、包装資材、酒類などの卸売りを行っています。また、お客さまの原材料や製品の輸出入、海外取引などの貿易事業も行っています。

前期に㈱スマイルを子会社としたこと、貿易事業および石油販売事業が拡大したことなどにより、対前期比38.6%の増収となりました。

商事・貿易事業

商事事業はセンコー商事㈱や㈱スマイル、㈱丸藤などが行っております。

センコー商事㈱はフォークリフトなどの物流機器、梱包資材などの物流資材、石油カードによる燃料の販売を行っています。㈱スマイルは食品などの包装資材や、酒類、食品、日用品などの卸売りを行っています。㈱丸藤、㈱オパタは日用品、健康食品、化粧品などの卸売りを行っています。

また貿易事業では、化学品や電子材料、アパレル製品など、お客さまの原材料、製品の輸出入業務などを行っています。



平成22年度～平成24年度 中期経営計画の結果について報告いたします。

Moving Global

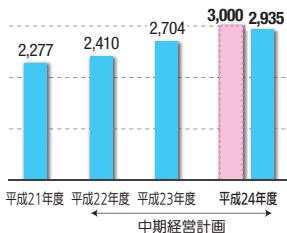
物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

経営目標の結果

🎯: 中期経営計画目標 📊: 各年度実績

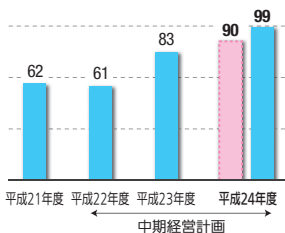
営業収益

単位: 億円



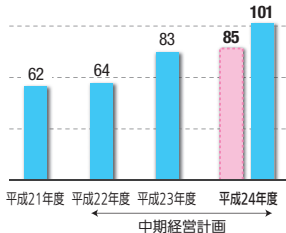
営業利益

単位: 億円



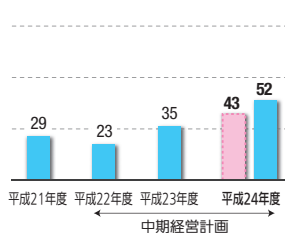
経常利益

単位: 億円



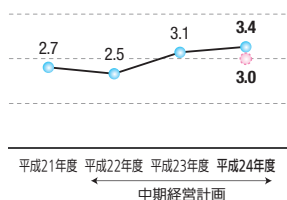
当期純利益

単位: 億円



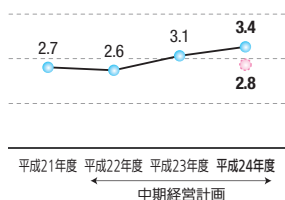
営業利益率

単位: %



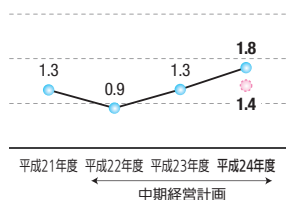
経常利益率

単位: %



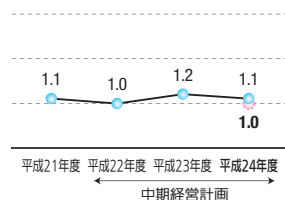
当期純利益率

単位: %



D/Eレシオ

単位: %



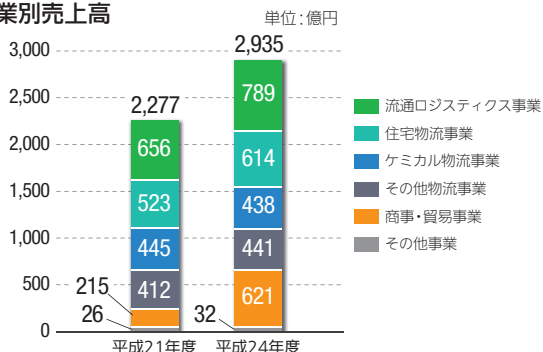
営業収益は積極的な販売拡大やM&Aなどを行った結果、平成21年度の2,277億円から、29%伸長し、2,935億円となりました。営業利益は売上拡大の効果、生産性の向上など収益の向上に努めた結果、60%伸長の99億円となりました。同様に、経常利益は63%伸長の101億円、当期純利益は79%伸長の52億円となりました。利益率も順調に向上しております。

当初の中期経営目標に対しては、営業収益では若干の未達となったものの、営業利益、経常利益、当期純利益では大幅に目標を上回る結果となりました。

また、事業拡大のための新規拠点の設置やM&Aを積極的に行いましたが、必要な資金については財務健全性の確保を心掛けた資金調達を行ってまいりました。

事業別の結果報告

事業別売上高



流通ロジスティクス事業

GMS(総合スーパー)やアパレル向けの物流を拡大したことなどにより12%増収(平成21年度比)となりました。

住宅物流事業

住宅メーカーの物流が増加したことや太陽光パネル、サッシなど住宅資材物流の新規引き受けを行ったことなどにより、17%増収(平成21年度比)となりました。

ケミカル物流事業

積極的な販売拡大を行いました。震災や円高による生産量減少の影響などにより2%減収(平成21年度比)となりました。

その他物流事業

中国ピアノ運送(株)の子会社化、機械や食品業界向けの物流を拡大したことなどにより、7%増収(平成21年度比)となりました。

商事・貿易事業

(株)スマイル、(株)オパタの子会社化、貿易事業の拡大などにより、189%増収(平成21年度比)となりました。

■ 物流センター事業の業容拡大

当社で最大規模となる野田第1PDセンターをはじめ、全国で物流センターを拡充しました。また、米国のケンタッキー物流センターなど、海外でも積極的に展開し、倉庫面積も約20万㎡増加いたしました。現在も12拠点、合計28万㎡の物流センターが建設・開設準備中です。



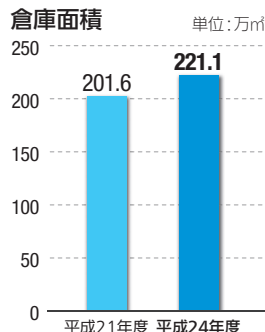
野田第1PDセンター(千葉県)



ケンタッキー物流センター(米国)



金沢PDセンター(石川県)



舞洲PDセンター(大阪府)



大連第2物流センター(中国)

創業100周年に向け 新中期経営計画を策定いたしました

センコーは平成28年に創業100周年を迎えます。

平成25年度から平成28年度までの4年間の中期経営計画は、次の100年を見据えた成長戦略を策定、目指すべき企業像を「国内外から信頼される、流通情報企業」と決めました。

当社は事業活動を通じて、関わるすべてのステークホルダーから信頼される企業となるべく具体的な施策を実施してまいります。

目指す姿

国内外から信頼される、流通情報企業



- 国内外のお客さま、国内外のパートナー（協会社、提携先）
- 国内外の株主・投資家
- 社会
- 従業員（社員、パート・アルバイト）とその家族

※流通情報企業とは：お客さまの調達から販売まで、情報を駆使する中、物流・商流を含めて、グローバルに最適な流通サービスを提供する企業。

コーポレート・スローガン

コーポレート・スローガンは、前回の中期経営計画から引き続き、当社の目指すべき方向を簡潔に表現した『Moving Global』とし、「物流を超える」、「世界を動かす」、「ビジネスを変える」をキーワードにその想いを、一人ひとりの従業員が共有し、100周年に向けてチャレンジしてまいります。

Moving Global

物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

グループ中期経営方針

グループの中期経営方針として次の5つの基本方針のもと、事業を推進してまいります。

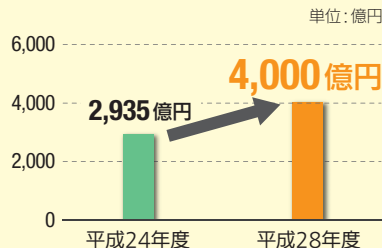
1. 総合・一貫したサービス提供に向け、物流・商流事業の業容を拡大するとともに、ものづくりへも挑戦する。
2. お客さまに一層信頼される、高品質でコストパフォーマンスの高いサービスを形成する。
3. グループ人材(グローバル人材、社内起業家含む)の育成・確保の為、人材教育・採用活動を強化する。
4. コンプライアンスを重視し、環境、安全、健康の先端企業を目指す。
5. 財務健全性の確保に重点を置いた財務施策を推進する。

中期経営目標 (平成 25～平成 28 年度)

中期経営目標を以下のように定め、目標の達成に向け、邁進いたします。

売上高 4,000 億円にチャレンジ

物流センター事業、商事・貿易事業の業容拡大、国際物流事業の強化、ものづくりへの挑戦、業務提携・M&Aの推進に取り組み、売上拡大を目指す。



営業利益 150 億円にチャレンジ

営業利益 150 億円、売上高営業利益率 3.8% を目指す。



設備投資 事業拡大のための新規拠点の設置、資本提携・M&A への出資を主体に行う。

中期事業方針

今後の事業展開において、次の5項目に重点的に取り組んでまいります。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 「物流センター事業」の業容拡大 | 4. 「ものづくり」への挑戦 |
| 2. 「商事・貿易事業」の業容拡大 | 5. 「業務提携・M&A」の推進 |
| 3. 収益を重視した「国際物流事業」の展開 | |

中期経営方針に基づく施策

事業別の重点施策

①流通ロジスティクス事業

- 物流センター事業の業容拡大(ネット通販、医療・医薬など)
- 共同配送事業の拡大

②住宅物流事業

- 在来工法の住宅分野、リフォーム市場への進出
- 施工や商流の機能を備えた新しい物流サービスの開発・拡充

③ケミカル物流事業

- 樹脂、液体、高圧ガスなど特殊物流の販売拡大
- 外資系メーカー、専門商社など新規顧客の開拓
- 共同配送などを含む3PL事業の拡大

④その他物流事業

- 病院引越、オフィス移転など新規事業の開発・拡大

⑤国際物流事業

- 顧客の海外戦略への対応
- 海外での物流機能の強化、地域物流網の構築
- 新興国への進出(カザフスタン、ASEAN諸国など)

⑥商事・貿易事業

- 商品の製造から販売、物流までを一体化させた商社機能の確立
- 貿易事業の強化・拡大

会社の経営に関する重点施策

①収益体制の強化

- 生産性向上活動
- 間接業務効率化
- 生産体制の革新

②情報化の推進

- 自動車・倉庫ネットワークシステムの構築
- 国際クラウドシステムの導入

③人事・賃金制度の整備

- グループ会社(海外法人を含む)に最適な人事賃金制度の整備

④人材育成・採用の強化

- グローバル人材の育成
- 新事業・商事貿易事業向け人材の採用活動強化

⑤財務健全性に重点を置いた財務施策の推進

CSR活動に関する重点施策

①環境対応の推進

- 環境先進企業を目指した積極的な取り組み
- 循環型社会への貢献活動の推進

②安全活動の推進

- グループ全体での予防安全活動の積極的な展開

③健康活動の推進

- 健康管理体制・健康増進支援体制の充実

中国・蘇州に大規模物流拠点を開設

中国・江蘇省の新拠点として平成24年10月、「蘇州物流センター」を開設しました。延床面積3万5,600㎡で、中国における当社最大の物流拠点。主なお客さまは現地に進出している日系企業で、商品保管から中国国内配送、三国間輸送まで、一貫対応します。



カザフスタンでコンビニ向け物流事業を開始

平成25年1月、カザフスタンで国内外初となるコンビニエンスストア向け物流事業を開始。ミニストップ株式会社さまと当社、現地企業が合併で中央アジア初となる日本のコンビニエンスストアを出店しました。当社は現地に物流センターを開設、冷凍・冷蔵・常温の商品を保管・配送します。今後、店舗数拡大に合わせ、事業を拡大していく計画です。



タイで輸送合併会社を設立

平成24年12月、当社は豊田通商株式会社さまとタイでの自動車部品、化学品輸送で高品質の輸送体制を構築するため、合併会社を設立しました。新会社は日系自動車工場向けの部品調達輸送事業と、ケミカル品や一般貨物の輸送事業を展開。今後は輸送網を拡充させ、タイを起点とした新たな物流サービスも検討してまいります。



AEO 制度の認定通関業者に認定

平成25年1月17日付で、当社は東京税関認定のAEO制度認定通関業者となりました。同制度は物流円滑化を目的としており、日本と相互承認の取り決めができていく国との間で通関手続きが簡素化され、より迅速な国際物流を実現できます。当社の認定営業所は東京、横浜など7カ所。制度のメリットを活かして国際物流サービスを充実させます。



(株)オバタをグループ化し、販路を拡大

平成24年9月、(株)オバタ(秋田県大館市)の全株式を取得し、センコーグループの一員としました。同社は北海道、東北の生協さまを中心に健康食品、飲料、日用品、化粧品卸売りを行っています。

当社グループで生協向け卸売りの(株)丸藤(神戸市)と合わせ、全国の生協に販路を拡大することができました。



オートフロア機能付き鉄道コンテナを開発

当社は、荷台の床を電動でスライドさせる「オートフロア」機能搭載の鉄道用31ftコンテナを開発しました。オートフロア機能を搭載した鉄道コンテナは業界初です。

手作業で行われることの多い鉄道コンテナへの積込作業の時間短縮・業務効率化とともに作業者の負担軽減が可能となりました。

※「オートフロア」はナカオ工業株式会社さまの登録商標です。



経営の重点課題としてCSRに取り組んでいます

平成22年度～平成24年度 中期環境計画

「センコー Ecoイノベーション」の成果報告

センコーグループは物流企業として環境に対し果たすべき役割を認識し、環境負荷低減活動を継続しています。平成22年度から平成24年度までは環境3か年計画「センコー Ecoイノベーション2012」を策定し、環境負荷を低減する多様な施策を実行してまいりました。

成果1 省電力 ▲20%達成

「省電力取り組み35項目」を定め、照明の間引きをはじめ、電力デマンドによるシステム管理、LED照明、太陽光発電など、全事業所で省電力に取り組み、売上当たりエネルギー使用量の20%削減(平成21年度比)を達成しました。



成果2 燃料使用量 ▲5.3%達成

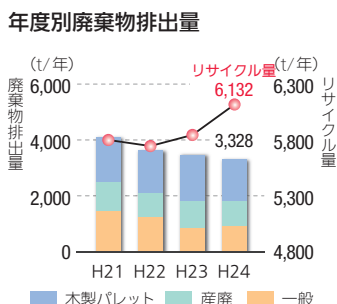
低公害車の導入、省燃費タイヤの装着をはじめ、お客さまと一体となった大型化・共同化などの輸送効率の推進、モーダルシフトの推進に取り組み、トンキロ当たりの燃料使用量を5.3%削減しました。



モーダルシフトに対応する新型コンテナ

成果3 廃棄物のリサイクル化 6,132t

古紙や包装資材などの廃棄物の排出量削減に取り組み、目標であった3,500t以下を達成。また、廃材の積極的なリサイクルを進め、リサイクル量は6,132tと目標を達成しました。



成果4 受賞 物流環境大賞

「Ecoイノベーション」が、平成23年5月に(株)日本物流団体連合会の「第12回物流環境大賞」を受賞しました。

また、「バルクコンテナー貫物流システム」が「エコプロダクツ大賞」を受賞。お客さまと共同で取り組んだモーダルシフトに対し「エコシップ表彰」を受賞しました。



エコプロダクツ大賞を受賞したバルクコンテナ

安全への取り組み

「強い現場」「卓越した現場」を創る、 安全教育と人材育成

当社は、自ら革新していく「強い現場」、さらにそこから新しい価値を創造する「卓越した現場」を実現するための人材育成に力を入れています。

そのために教育体制を強化し、すべての研修に改善・革新をテーマとしたカリキュラムを導入して、リーチリフト基本操作の訓練
各地域の現場に革新をもたらすリーダーの養成を目指しています。



■全国トラックドライバー・コンテスト 女性部門で当社社員が優勝

平成24年10月に行われた「第44回全国トラックドライバー・コンテスト」に、当社グループから6名が出場し、女性部門で花岡さや社員が優勝しました。全国大会での優勝は当社初です。

花岡社員は浜松PDセンターに勤務し、11トントラックで配送業務を行っています。



地域貢献

「子ども交通安全教室」を 全国各地の事業所で開催しました

当社は平成24年度、全国14カ所の支店で子どもたちとその保護者を対象にした「子ども交通安全教室」を開きました。

このイベントは、当社がこれまでの事業活動を通じて培った交通安全のノウハウを、子どもたちをはじめ広く社会に役立ててもらうことを目的に、毎年、全国の事業所で開催しているものです。

地元の幼稚園・保育園児をはじめとする子どもたちとその保護者が参加し、「道路の渡り方」「トラックの危険性」「自動車の運転席からの死角」を学習。また地元の警察署・消防署にご協力いただき、交通安全に関する講義や車両の展示なども行いました。



横断歩道の渡り方を学ぶ子どもたち



CSR 報告書のご紹介

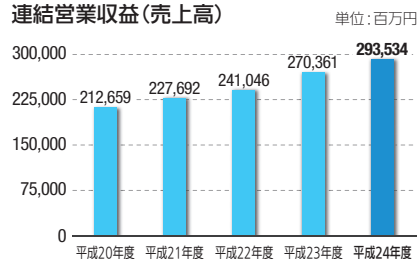
当社のCSR活動の詳細内容は「CSR 報告書」で紹介しております。

CSR 報告書は当社WEBサイトでご覧いただけます。

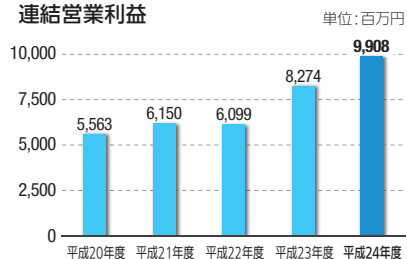
<http://www.senko.co.jp/jp/csr/report/>

		第92期 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	第93期 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	第94期 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	第95期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	第96期 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
連結営業収益(売上高)	(百万円)	212,659	227,692	241,046	270,361	293,534
連結営業利益	(百万円)	5,563	6,150	6,099	8,274	9,908
連結経常利益	(百万円)	5,533	6,232	6,375	8,333	10,100
連結当期純利益	(百万円)	2,848	2,946	2,261	3,478	5,202
連結純資産	(百万円)	52,130	55,123	60,604	63,274	67,327
連結一株当たり当期純利益	(円)	25.95	26.83	18.44	27.65	41.45
連結一株当たり純資産	(円)	470.48	489.99	469.14	488.25	521.48
貨物自動車(連結)	(台)	3,072	3,174	3,145	3,218	3,240
倉庫総面積(連結)	(m ²)	1,857,047	2,015,977	2,078,957	2,247,279	2,211,494
配当金	(円)	8.00	8.00	10.00	12.00	14.00
配当性向(連結)	(%)	30.8	29.8	54.2	43.4	33.8

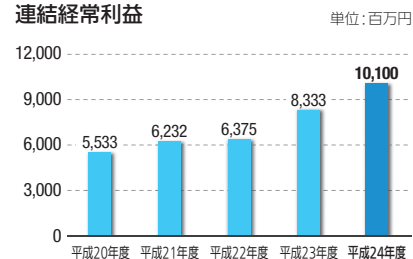
連結営業収益(売上高)



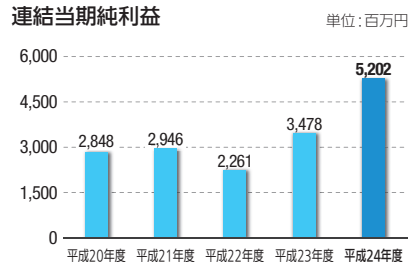
連結営業利益



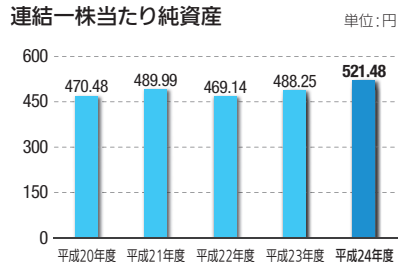
連結経常利益



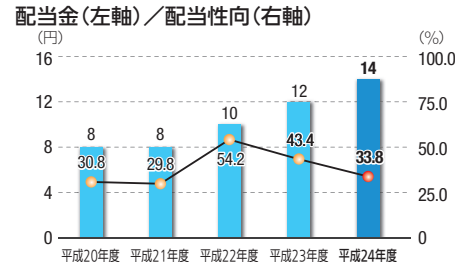
連結当期純利益



連結一株当たり純資産



配当金(左軸)／配当性向(右軸)



連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	前連結 会計年度 (平成24年3月31日 現在)	当連結 会計年度 (平成25年3月31日 現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,354	15,690
受取手形及び営業未収入金	40,688	42,387
商品及び製品	4,087	4,399
販売用不動産	3	3
仕掛品	150	190
原材料及び貯蔵品	188	186
繰延税金資産	2,051	2,030
その他	3,782	4,041
貸倒引当金	△ 53	△ 66
流動資産合計	64,254	68,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,806	44,117
機械装置及び運搬具	5,814	5,580
工具、器具及び備品	859	749
土地	39,837	40,098
リース資産	3,591	3,256
建設仮勘定	229	1,803
有形固定資産合計	96,139	95,605
無形固定資産	7,235	6,930
投資その他の資産		
投資有価証券	4,754	5,550
長期貸付金	4,223	4,027
差入保証金	8,810	9,252
繰延税金資産	4,000	3,435
その他	13,709	14,829
貸倒引当金	△ 280	△ 399
投資その他の資産合計	35,217	36,696
固定資産合計	138,592	139,232
資産合計	202,847	208,095

百万円未満は切り捨てて表示しています。

科 目	前連結 会計年度 (平成24年3月31日 現在)	当連結 会計年度 (平成25年3月31日 現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	32,297	31,377
1年内償還予定の新株予約権付社債	4,900	—
短期借入金	13,936	14,475
リース債務	2,066	2,146
未払法人税等	2,281	2,540
賞与引当金	3,125	3,118
役員賞与引当金	172	181
災害損失引当金	43	—
その他	9,260	9,995
流動負債合計	68,084	63,835
固定負債		
社債	12,000	12,000
転換社債型新株予約権付社債	—	5,000
長期借入金	40,422	41,749
リース債務	4,075	3,583
退職給付引当金	9,468	9,269
役員退職慰労引当金	66	65
特別修繕引当金	52	61
資産除去債務	316	324
その他	5,087	4,878
固定負債合計	71,489	76,931
負債合計	139,573	140,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,782
利益剰余金	22,901	26,468
自己株式	△ 1,049	△ 1,353
株主資本合計	61,155	64,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	673
繰延ヘッジ損益	156	△ 4
為替換算調整勘定	△ 44	52
その他の包括利益累計額合計	269	720
新株予約権	149	195
少数株主持分	1,700	1,992
純資産合計	63,274	67,327
負債純資産合計	202,847	208,095

連結損益計算書

単位:百万円

科目	前連結 会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	当連結 会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
営業収益	270,361	293,534
営業原価	245,426	263,898
営業総利益	24,935	29,635
販売費及び一般管理費	16,661	19,727
営業利益	8,274	9,908
営業外収益	1,882	1,720
受取利息	181	162
受取配当金	912	965
その他	788	591
営業外費用	1,823	1,529
支払利息	1,200	1,155
その他	622	373
経常利益	8,333	10,100
特別利益	174	—
固定資産売却益	174	—
特別損失	723	481
固定資産除却損	190	201
関係会社貸倒引当金繰入額	—	106
投資有価証券評価損	—	77
特別退職金	179	53
リース解約損	50	43
固定資産売却損	302	—
税金等調整前当期純利益	7,783	9,618
法人税、住民税及び事業税	2,705	3,932
法人税等調整額	1,525	397
法人税等合計	4,230	4,329
少数株主損益調整前当期純利益	3,553	5,288
少数株主利益	74	85
当期純利益	3,478	5,202

百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	前連結 会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	当連結 会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,341	11,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,466	△ 6,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,094	△ 2,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,040	2,303
現金及び現金同等物の期首残高	14,394	13,354
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	32
現金及び現金同等物の期末残高	13,354	15,690

百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結包括利益計算書

単位:百万円

科目	前連結 会計年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	当連結 会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	3,553	5,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	563
繰延ヘッジ損益	181	△ 166
為替換算調整勘定	△ 16	153
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 1	△ 0
その他の包括利益合計	343	549
包括利益	3,897	5,838
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,786	5,654
少数株主に係る包括利益	110	184

百万円未満は切り捨てて表示しています。

連結株主資本等変動計算書

単位：百万円

当連結会計年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	株主資本					その他の包括利益累計額				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
平成24年4月1日 残高	20,521	18,782	22,901	△1,049	61,155	157	156	△44	269	149	1,700	63,274
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△1,635		△1,635							△1,635
当期純利益			5,202		5,202							5,202
自己株式の取得				△310	△310							△310
自己株式の処分		△0		6	6							6
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						516	△161	96	451	46	291	790
連結会計年度中の変動額合計	—	△0	3,567	△303	3,263	516	△161	96	451	46	291	4,053
平成25年3月31日 残高	20,521	18,782	26,468	△1,353	64,418	673	△4	52	720	195	1,992	67,327

百万円未満は切り捨てて表示しています。

個別財務諸表のハイライト

単位：百万円

貸借対照表	前事業年度	当事業年度
資産合計	173,572	176,639
流動資産	39,520	41,024
固定資産	134,052	135,614
負債合計	117,072	118,418
流動負債	48,861	44,709
固定負債	68,210	73,709
純資産合計	56,500	58,220
株主資本	56,246	57,491
評価・換算差額等	105	533
新株予約権	149	195
負債純資産合計	173,572	176,639

百万円未満は切り捨てて表示しています。

単位：百万円

損益計算書	前事業年度	当事業年度
営業収益	182,586	186,086
営業原価	170,201	172,835
販売費及び一般管理費	6,786	7,058
営業利益	5,598	6,192
営業外収益	1,755	1,687
営業外費用	1,629	1,501
経常利益	5,724	6,377
特別損失	668	402
税引前当期純利益	5,056	5,975
法人税等合計	2,884	2,790
当期純利益	2,172	3,184

百万円未満は切り捨てて表示しています。

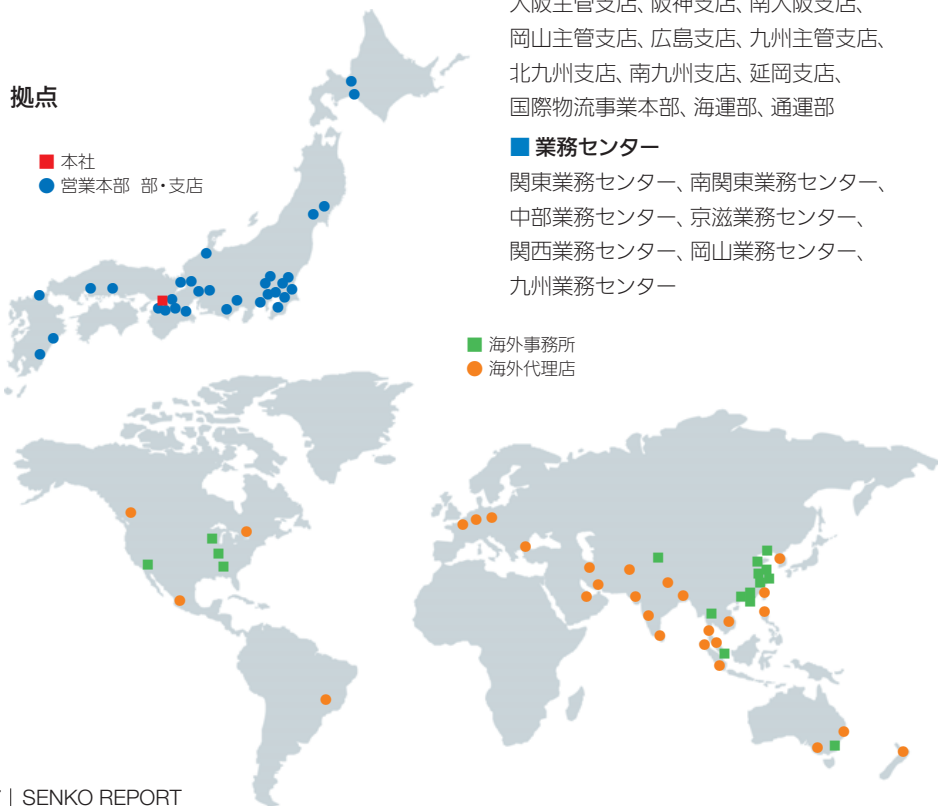
会社概要

(平成25年3月31日現在)

商号 センコー株式会社
 資本金 20,521,133,751円
 創業 大正5年9月
 設立 昭和21年7月
 本社 〒531-6115
 大阪市北区大淀中一丁目1番30号
 電話(06)6440-5155(代表)
 事業所 340カ所
 従業員 8,889名
 貨物自動車 3,240台
 所有船舶 11隻
 倉庫 221.1万m²

※グループ合計

拠点



主要な事業所

(平成25年4月1日現在)

■ 営業本部・営業部

住宅物流営業本部
 ケミカル物流営業本部
 ロジスティクス営業本部
 百貨店物流営業部

■ 部支店

札幌主管支店、札幌南支店、仙台主管支店、
 仙台北支店、関東主管支店、茨城支店、柏支店、
 埼玉主管支店、埼玉北支店、埼玉南支店、
 東京主管支店、東東京支店、神奈川支店、
 厚木支店、千葉支店、静岡支店、
 名古屋主管支店、小牧支店、三重支店、
 北陸支店、京滋主管支店、京滋東支店、
 大阪主管支店、阪神支店、南大阪支店、
 岡山主管支店、広島支店、九州主管支店、
 北九州支店、南九州支店、延岡支店、
 国際物流事業本部、海運部、通運部

■ 業務センター

関東業務センター、南関東業務センター、
 中部業務センター、京滋業務センター、
 関西業務センター、岡山業務センター、
 九州業務センター

役員

(平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役副社長執行役員	藤森 正三
取締役社長執行役員	手塚 武與
取締役専務執行役員	田中 健悟
取締役常務執行役員	山中 一裕
取締役常務執行役員	川瀬 由洋
取締役常務執行役員	尾池 和昭
取締役常務執行役員	宮津 純二
取締役常務執行役員	米司 博
取締役執行役員	嘉永 良樹
取締役	飴野 仁子
取締役	尾島 史賢
常勤監査役	遠山 泰
常勤監査役	澤田 孝志
常勤監査役	石岡 孝伸
常勤監査役	吉本 恵一郎
専務執行役員	村上 和正
常務執行役員	大迫 友行
執行役員	山本 隆志
執行役員	白木 健一
執行役員	谷口 玲
執行役員	多田 政美
執行役員	佐々木 信郎
執行役員	是沢 可人
執行役員	室崎 行雄
執行役員	鶴留 和治
執行役員	伊藤 彰
執行役員	瑠璃垣 潔
執行役員	川崎 寛治
執行役員	前田 龍宏
執行役員	池辺 武雄
執行役員	後藤 邦彦
執行役員	河野 誠司
執行役員	大越 昇

子会社等

(平成25年3月31日現在)

〈物流事業〉

- ロジ・ソリューション株式会社
- 株式会社センコー引越プラザ
- センコーエーラインアマン株式会社
- 東京納品代行株式会社
- イマイ運送株式会社
- 中国ピアノ運送株式会社
- 札幌センコー運輸株式会社
- 東北センコー運輸株式会社
- 関東センコー運輸株式会社
- 埼玉センコー運輸整備株式会社
- センコー住宅物流株式会社
- 千葉センコー運輸整備株式会社
- センコーファッション物流株式会社
- 柏センコー運輸株式会社
- 野田センコーロジサービス株式会社

- Senko (USA) Inc.
- 大連三興物流有限公司
- 大連保税区貝思特国際貿易物流有限公司
- 扇拡物流（上海）有限公司
- 上海扇拡国際貨運有限公司
- 広州扇拡物流有限公司
- Senko International Logistics (Hong Kong) Ltd.
- 青島雪興国際物流有限公司
- 瀋陽扇拡物流有限公司
- Senko (Thailand) Co.,Ltd.
- Senko International Logistics Pte. Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd.
- Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP

〈商事・貿易事業〉

- センコー商事株式会社
- 株式会社スマイル
- 株式会社丸藤
- 富士ラベル株式会社
- 株式会社タカノ機械製作所
- 株式会社オパタ
- 上海斯美棠貿易有限公司
- HONG KONG SMILECORP LTD.
- Japan Select LLP
- 株式会社センコー保険サービス
- センコー情報システム株式会社
- 株式会社四国冷凍運輸倉庫
- センコーフーズ株式会社
- 株式会社クレフィール湖東
- S-TAFF 株式会社
- センコービジネスサポート株式会社
- ロジファクタリング株式会社
- 株式会社センコースクールファーム鳥取
- Senko Logistics (USA) Inc.
- 神奈川センコー運輸株式会社
- 北陸センコー運輸株式会社
- 富士センコー運輸株式会社
- 大東センコーアポロ株式会社
- 東海センコー運輸株式会社
- 豊橋センコー運輸株式会社
- 三重センコーロジ株式会社
- 滋賀センコー運輸整備株式会社
- 大阪センコー運輸株式会社
- 東京納品代行西日本株式会社
- 南大阪センコー運輸整備株式会社
- 阪神センコー運輸株式会社
- 江坂運輸株式会社
- 阪神運送株式会社
- 奈良センコー物流株式会社
- 岡山センコー運輸株式会社
- 三協貨物株式会社
- 山陽センコー運輸株式会社
- 中四国ロジスティクス株式会社
- 福岡センコー運輸株式会社
- 南九州センコー株式会社
- 宮崎センコー運輸整備株式会社
- 宮崎センコーアポロ株式会社
- センコーメディカルロジスティクス株式会社

〈その他事業〉

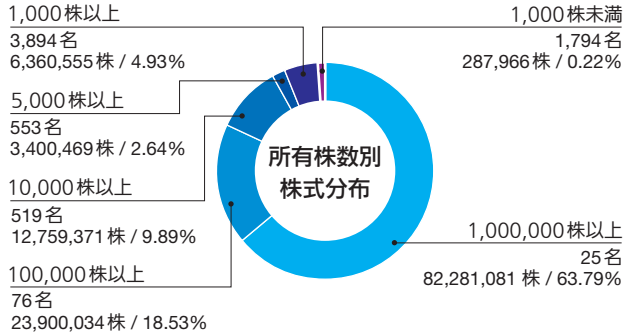
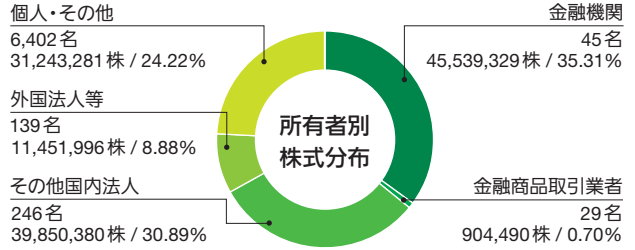
- Senko (USA) Inc.
- 大連三興物流有限公司
- 大連保税区貝思特国際貿易物流有限公司
- 扇拡物流（上海）有限公司
- 上海扇拡国際貨運有限公司
- 広州扇拡物流有限公司
- Senko International Logistics (Hong Kong) Ltd.
- 青島雪興国際物流有限公司
- 瀋陽扇拡物流有限公司
- Senko (Thailand) Co.,Ltd.
- Senko International Logistics Pte. Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd.
- Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP
- センコー商事株式会社
- 株式会社スマイル
- 株式会社丸藤
- 富士ラベル株式会社
- 株式会社タカノ機械製作所
- 株式会社オパタ
- 上海斯美棠貿易有限公司
- HONG KONG SMILECORP LTD.
- Japan Select LLP
- 株式会社センコー保険サービス
- センコー情報システム株式会社
- 株式会社四国冷凍運輸倉庫
- センコーフーズ株式会社
- 株式会社クレフィール湖東
- S-TAFF 株式会社
- センコービジネスサポート株式会社
- ロジファクタリング株式会社
- 株式会社センコースクールファーム鳥取
- Senko Logistics (USA) Inc.

(注) ○は連結子会社を示しております。

株式の状況

(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株
 発行済株式総数 128,989,476株
 株主総数 6,861名



大株主(上位10位)

(平成25年3月31日現在)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	15,516,000	12.03
旭化成株式会社	11,676,726	9.05
センコーグループ従業員持株会	7,590,743	5.88
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,697,000	4.42
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,252,000	3.30
いすゞ自動車株式会社	4,139,689	3.21
東京海上日動火災保険株式会社	3,439,170	2.67
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.46
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,641,000	2.05

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.senko.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に 公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

女性目線で生まれた化粧石鹸 ～センコー商事(株)の新しい商品開発～



センコー商事(株)は平成25年3月から化粧石鹸「^{ほだか}絆花」の販売を開始しました。

商品開発に女性社員が携わった女性目線の商品です。同社が自社ブランドとして開発から販売まで手掛けるのは初めてです。

この商品は植物原料からできたやさしい石鹸で、保湿・洗浄に優れており、これ一つで洗顔、クレンジング、ボディソープにご利用いただけます。肌に美容を与えるだけにとどまらず、洗うことで肌を育み健康を追求する新しい「美容健康」ソープです。

化粧石鹸「^{ほだか}絆花」は、下記のWEBサイトからどなたでもご購入いただけます。

ほだか石鹸

検索

<http://hodaka.jp/>